

閑谷学校を訪ね、塩づくり体験

紅葉のバス旅行、32人集う

晩秋の一日、日本遺産の閑谷（しずたに）学校を訪ね、赤穂で塩づくり体験を楽しんだー北区会のバス旅行は11月16日、32人が参加して行われました。

朝8時、しあわせの村を出発。谷上駅で全員が揃ったところで道満会長とガイドさんから挨拶と行程の説明があり、山陽道を一路備前へ。2時間走って江戸前期、庶民に儒教を教えたという閑谷学校に到着。3班に分かれ地元のガイドさんから説明を受ける。紅葉の山あい広がるキャンパス。意外に多い観光客に驚く。儒教の影響か、中国風の建物が点在（中国人ツアーが喜ぶらしい）。学問の木といわれる珍しい楷（かい）の木紅葉を眺め、国宝の講堂内を見学する。100畳を越す板張りで、現在も論語を学ぶ研修が行われているという。1時間かけて見学したが、ガイドさんの説明が細かすぎて頭に入らないのが残念。

お次は備前焼の窯元の一つを見学。「2週間かけて高温で焼成するので、お茶やお酒、お水の味がよくなりますよ」と、当主からPR調の説明があり、何人かは湯のみや花器を買った。午後1時前、赤穂御崎のレストランに着いてやっと昼食タイム。カキなど季節の料理はなし。秋天の下、家島群島が一望でき、気分は最高にGOOD!

県立赤穂海浜公園。広大な敷地に湖や塩田跡が広がり、海洋博物館・キャンプ場・遊園地がある。人影は



まばらだ。ここで塩づくり体験をした。13%の塩水（鹹水）の入った小さな土鍋を沸騰させ、かき混ぜながら水分を飛ばすと、20分ほどで真っ白な粗塩の出来上がりだ。やや苦い味。「マグロの刺身ににかけて食べるとうまいよ」と係のおじさん。

ここから暫く走って赤穂城址へ。小さな櫓があるだけで何も無い。大石神社にお参りし、四十七士の石像を見るくらい。この像は、志士たちの子孫が奉納したもので、毎年12月15日には赤穂全体が”討ち入りモード”に包まれるという。ガイドさんお勧めの塩饅頭を買って帰途につき、午後5時過ぎに無事帰着した。

今回でバス旅行は4回目。32人中、19人が男性、13人が女性。長谷川洸土さんが企画、交渉を担当。佐伯義昭・飯川泰郎・芦田義和・庄田洋一さんが世話役を務めました。（取材・南形徹）●ホームページもご覧下さい。



【写真】⑥閑谷神社前で



⑤備前焼の窯元見学



④海水煮詰め塩づくり

③国宝の講堂前で